

ユースによる海ごみ対策キャンペーン（海と日本 2021）

報 告 書



2022 年 3 月

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

1.キャンペーンの趣旨

海洋ゴミやマイクロプラスチックの問題が深刻ですが、少子高齢化が進んだ地方においてはゴミ拾いをするボランティアが高齢化するとともに数が不足しており、問題に対する対処が十分にできていない状況です。またコロナ禍による活動機会の減少により、清掃活動やイベント企画・運営する学生の経験やノウハウの継承に支障をきたしています。

将来的には、地元のボランティア団体・NPO、行政、企業、学校等と連携し、単なる清掃だけでなく、より多くの市民が参画できるような環境イベントを行うことを目指しますが、2021年度は市民参加型のイベント実施の可能性が不透明のため、学生のリーダー育成を目指します。

2.キャンペーンの概要・成果

このキャンペーンでは、以下の3つのことを実施しました。

(1) 清掃活動

【海岸清掃 延べ333名参加】

- 大阪府貝塚市二色浜 7月4日 75名
- 宮城県山元町・花釜海岸 10月30日 46名
- 山形県酒田市海岸 11月20日～21日 30名
- 山形県鶴岡市湯野浜海岸 3月19日～20日 53名
- 長崎県佐世保市白浜 11月20日 13名
- 兵庫県西宮市甲子園浜 12月19日 14名
- 岡山県備前市日生諸島大多府島 3月18日 39名
- 琵琶湖周辺 10月31日 58名、3月23日～25日 63名

【河川・地域清掃 延べ615名参加】

- 荒川 10月10日 13名、10月24日 14名、11月6日 35名、11月7日 46名、12月4日 5名
- 鴨川 10月24日 40名、3月20日 19名
- 淀川 11月7日 24名、11月14日 7名
- 桂川 12月5日 11名
- 大和川 1月5日 22名
- 大正川 11月7日 45名、3月20日 5名
- 鶴見川 11月27日 19名
- 武庫川 8月1日 18名
- 横浜みなとみらい 3月23日 11名
- 市街地
 - 東京都渋谷区 10月20日 31名、10月23日 19名、10月31日 16名
 - 東京都千代田区 11月9日 14名
 - 東京都文京区 11月21日 21名、12月19日 11名
 - 神奈川県川崎市 11月14日 15名
 - 神奈川県横浜市 11月20日 20名

千葉県柏市 11月27日31名
埼玉県鴻巣市 11月6日8名
群馬県高崎市 10月23日26名
京都府京都市 11月21日10名
京都府京田辺市 12月5日29名
大阪府大阪市内 10月10日9名、10月30日14名
滋賀県大津市 12月19日7名

(2) リーダー育成のためのワークショップ

- 大規模活動・イベント運営のノウハウを学ぶオンラインワークショップ 計10回実施、延べ218人が参加
- リーダー合宿 12月26日～28日 国立中央青少年交流の家 131人が参加

(3) 海洋ゴミ問題に関するオンライン講演会・ウェビナーの実施

- 8月6日に海洋ゴミ問題におけるパートナーシップの重要性を学ぶオンライン講演会を開催（講師：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム事務局長・今村 和志氏）参加者52名
- 9月10日に海洋ゴミ問題に関する大学生主催のオンラインワークショップを開催 参加者150名
- 3月3日に石垣島の海洋ゴミ問題についてのオンライン講演会を開催（講師：石垣ビーチクリーンクラブの江尻栄子氏、笠原利香氏、佐藤紀子氏）参加者36名
- 学生による海洋ゴミに関するウェビナー 計37回実施、628名が参加

(4) その他

- 島根県出雲市で開催された「熱源サミット」（11月11日～12日）に2名参加

3. 活動の様子

荒川



淀川



大正川



武庫川



二色浜



甲子園浜



白浜海岸



花釜海岸



日生諸島大多府島



酒田市海岸



鶴岡市湯野浜海岸



琵琶湖湖岸



渋谷



道頓堀



高崎



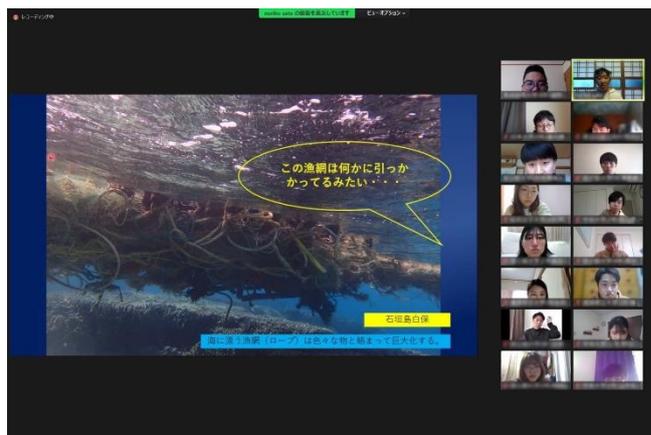
京都市内



学生役員ワークショップ



石垣島ワークショップ



【熱源サミットに参加した学生の感想】

11月11日から13日に島根県出雲市で行われる熱源サミットに海に対し熱い思いをもつ熱源人材東京代表の東洋大学4年の矢澤成珠と東洋大学2年小関真里奈が参加しました。

1日目のプログラムでは、ワークショップ、マッチング交流会を行いました。ワークショップでは、コンサル・IT・クラウドファンディングなどそれぞれの分野で人との繋がり、まちづくりに尽力されている3人の講師のもと、全国から集まった熱源の方と海やその取り組みについて考えました。マッチング交流会では、他分野で活躍されている熱源人材同士で交流をしました。みなさん異なる観点から海の課題、海洋ゴミ問題について考えられており、とても刺激を受けました。

2日目は、アクセラレーションプログラムを行いました。アクセラレーションプログラムとは、短期間で事業を成長させるためのプログラムです。5人1組のグループに別れ、チームごとの強みを生かし新たな事業を考えました。その後、教育や商品開発、観光など様々な分野からのアプローチ方法や思いを各グループがプレゼンしました。講師の北尾さんからはフィードバックをいただき、視野を広げるきっかけになりました。

3日目は、希望者で出雲大社周辺の視察ツアーに参加しました。出雲大社を参拝したり日御碕神社や日御碕灯台を観光したりしました。ガイドさんに説明していただきながら、観光地をまわることで出雲の魅力や歴史を知ることができました。

第1回熱源サミットに参加し海に対する様々な考え方、取り組みを知り、自分たちの活動の可能性や海洋ゴミ問題に対するアプローチ方法の幅の広さを感じることができました。今後、今回参加してできたネットワークや知見を活かし、海のためにアクションを起こし続けていきたいです。(矢澤)

熱源サミットに参加して、海や海水の現状がいかに深刻であるかを知り、それに対して向き合い、何が出来るのか何をすべきなのかを考える機会になりました。

熱源人材の方々は、漁師や先生・学生などとても幅広い職業で、様々な視点を持ち、環境問題に対して日頃から熱心に取り組まれている方々で、とても刺激的でした。

そんな方々の話を聞き、交流することを通して、IVUSAという団体の強みや私たちにできることがたくさんあること、可能性を強く感じました。

熱源サミットだけにとどまらず、今回感じたことや新たに考えたことをより深め、海洋問題をはじめ、社会問題に対して主体的に行動をしていきたいと思えます。そして、私たちのような若者が率先して社会問題に対し取り組みすることに大きな意義があることを強く実感しました。(小関)



4.成果と課題

8月から9月に予定していた会員による大規模な海岸清掃活動が、8月の感染者急増（第5波）のため、すべて中止となり、感染が落ち着いた10月から12月にかけて小規模の河川・地域清掃を中心に実施しました。

また、大規模活動やイベントを運営できるリーダーの育成に力を入れ、図上演習的なワークショップを月一回行い、12月には来年度の組織運営を担う学生役員たちの合宿の中でも、マネジメントの基礎研修を実施しました。

とはいえ、大規模活動ができない期間が長引き、現場経験の豊富な学生もこの3月で卒業してしまったため、もう一度立て直しをしていく必要があります。現場におけるノウハウやスキルの継承が困難なため、各種業務の標準化やマニュアル化なども今後進めていく予定です。

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 1-34-4 B-102

TEL/FAX 03-3418-1840

E-mail ivusa-office@ivusa.com

ウェブサイト <https://www.ivusa.com/>